



森園 正信 さん (53)

[金峰権現太鼓 会長]

# 南さつま 縁人 VOL.33

MINAMISATSUMA ENGINE

**南** 薩地域を中心に活動する和太鼓グループ「金峰権現太鼓」は平成6年、金峰山開山1400年記念イベントを機に旧金峰町の商工会や青年団などから30人程集まって結成されました。森園さんは4代目の会長を務めています。

20代の頃、初めて見たプロの和太鼓演奏に感動したことをきっかけに、金峰権現太鼓に加入。当時は練習より集まること自体が楽しみでしたが、イベントで県内外の団体との交流を通して刺激を受け、より練習に精を出すように。また、チームでも作曲に取り組み、オリジナルの楽曲も増えていきました。平成9年にはジュニアチーム「KODON（コドン）」を結成し、若手を中心としたメンバー全員で子どもたちを教えあっています。「太鼓を通じて人や音、全てが繋がっていることが面白い。子どもたちには、太鼓を通して繋がることの楽しさを経験してほしい」そう話す森園さん自身も、メンバーや他の団体など、いろんな人との交流を大事にしている、世界で活



躍中の和太鼓グループ「DRUM TAO（ドラムタオ）」とも交流を持ち、金峰公演を実現しました。

金峰権現太鼓は地域の複数の敬老会での演奏を20年近く続けています。力強い演奏と曲の切り替えの前語りを楽しむお年寄りや、中には感動して涙を流す人もいます。うで、「チームの一番の活力は地域の皆さんの笑顔」と感謝します。コミュニケーションを大事にして、チームの演奏に昇華していった森園さん。次の目標は「大好きな権現太鼓がずっと続くように、生涯現役で後輩の成長を見守っていききたい」と楽しそうに話しました。

南さつま市に住む人、働く人、生き生きと活動している人を、南さつま市の輝く原動力（エンジン）としてご紹介します。